

## 7. ダイオキシン類

### (1) ダイオキシン類環境調査結果

大気、水質、底質及び土壌について16地点で調査を行った結果、すべての地点で環境基準を達成した。

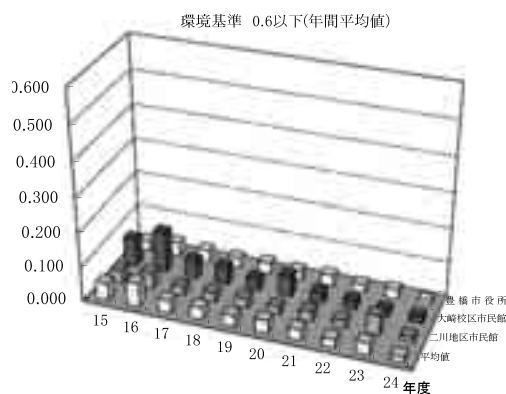
#### 平成24年度 ダイオキシン類環境調査結果

区 分		調 査 地 点		調 査 結 果	環 境 基 準 及 び 単 位
大 気 環 境			豊橋市役所	0.013	0.6pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以 下 (年間平均値)
			大崎校区市民館	0.018	
			二川地区市民館	0.014	
			原町公民館	0.026	
水 環 境 (公 共 用 水 域)	水 質	河 川	梅田川(御厩橋)	0.48	1pg-TEQ/ℓ 以 下 (年間平均値)
			新橋川(梅田川合流点手前)	0.30	
			藤並川(梅田川合流点手前)	0.15	
		海 域	A - 3(神野ふ頭)	0.060	
	底 質	河 川	梅田川(御厩橋)	0.42	150pg-TEQ/g 以 下
			新橋川(梅田川合流点手前)	0.92	
			藤並川(梅田川合流点手前)	0.44	
		海 域	A - 3(神野ふ頭)	3.8	
水 環 境 (地 下 水)		大岩町(深井戸)		0.015	1pg-TEQ/ℓ 以 下 (年間平均値)
		前芝町(深井戸)		0.042	
土 壌 環 境		湊町(湊町公園)		0.026	1,000pg-TEQ/g 以 下 * 調査指標 250pg-TEQ/g
		東小鷹野三丁目(中沢公園)		0.32	

(2) ダイオキシン類環境調査 経年結果

ア 大気環境

(単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>)



a. 継続調査地点

調査年度 調査地点	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
豊橋市役所	0.029	0.040	0.034	0.029	0.033	0.027	0.032	0.022	0.026	0.013
大崎校区市民館	0.083	0.12	0.052	0.052	0.035	0.062	0.031	0.025	0.018	0.018
二川地区市民館	0.037	0.048	0.026	0.027	0.029	0.024	0.030	0.023	0.057	0.014
平均値	0.050	0.069	0.037	0.036	0.032	0.038	0.031	0.023	0.034	0.015

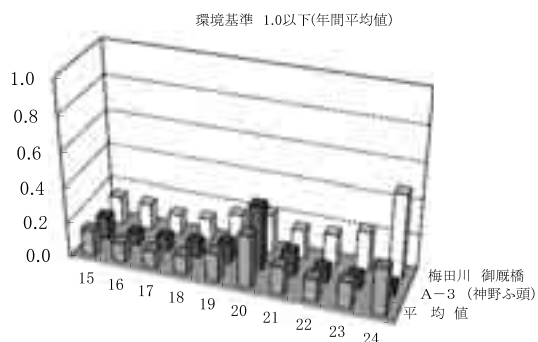
b. 単年度調査地点

調査年度 調査地点	22	23	24
原町公民館	0.081	0.035	0.026

イ 水環境

公共用水域：水質

(単位：pg-TEQ/L)



a. 継続調査地点

区分	調査年度 調査地点	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
河川	梅田川 御厩橋	0.16	0.15	0.12	0.13	0.19	0.23	0.17	0.18	0.23	0.48
海域	A - 3 (神野ふ頭)	0.13	0.067	0.08	0.092	0.12	0.37	0.14	0.084	0.079	0.060
	平均値	0.15	0.11	0.10	0.11	0.16	0.30	0.16	0.13	0.15	0.27

## b. 単年度調査地点

(単位: pg-TEQ/L)

区 分	調 査 地 点	調 査 結 果	年 度
河 川	ライホテ都市下水路 御園橋	0.052	20 年度
	二十間川 二十間橋	0.71	
	山中川 本興寺橋	0.85	
	境川 万溪橋	0.16	21 年度
	権茂川 梅田川合流点手前	0.21	
	坪口川 坪口橋	0.10	22 年度
	朝倉川 境橋	0.077	
	柳生川 柳生橋	0.39	23 年度
	新橋川 梅田川合流点手前	0.30	
藤並川 梅田川合流点手前	0.15	24 年度	

公共用水域: 底 質

## a. 継続調査地点

(単位: pg-TEQ/ g)

水 域	調 査 地 点	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
河 川	梅田川 御厩橋	0.75	1.3	0.59	0.62	1.1	0.70	0.57	0.26	0.19	0.42
海 域	A - 3(神野ふ頭)	11	17	14	12	16	12	16	16	12	3.8

## b. 単年度調査地点

(単位: pg-TEQ/ g)

区 分	調 査 地 点	調 査 結 果	年 度
河 川	ライホテ都市下水路 御園橋	1.1	20 年度
	二十間川 二十間橋	4.9	
	山中川 本興寺橋	0.65	
	境川 万溪橋	0.58	21 年度
	権茂川 梅田川合流点手前	0.31	
	坪口川 坪口橋	0.73	22 年度
	朝倉川 境橋	0.37	
	柳生川 柳生橋	0.56	23 年度
	新橋川 梅田川合流点手前	0.92	
藤並川 梅田川合流点手前	0.44	24 年度	

地下水(単年度調査)

(単位: pg-TEQ/L)

区 分	調 査 地 点	調 査 結 果	年 度	
地 下 水	大岩町	0.041	20 年度	
	小島町	0.039		
	牛川町	0.071		
	柱八番町	0.058	21 年度	
	神野新田町	0.060		
	中原町	0.062		
	湊町	0.015	22 年度	
	下地町	0.015		
	大岩町	0.015		
	前芝町	0.042	23 年度	
				24 年度

## ウ 土壌環境(単年度調査)

(単位: pg-TEQ/ g)

調 査 地 点	調 査 結 果	年 度
宮下町 宮下公園	10	20 年度
東脇三丁目 井ノ瀬公園	2.6	
緑ヶ丘二丁目 緑ヶ丘公園	1.2	
豊清町 籠田公園	1.4	21 年度
多米東町三丁目 広畑公園	4.2	
大崎町 大崎公園	3.2	22 年度
大村町 大村公園	6.7	
富士見台二丁目 大清水第三公園	17	23 年度
湊町 湊町公園	0.026	
東小鷹野三丁目 中沢公園	0.32	24 年度

### (3) 事業者測定結果

#### 排出ガスの測定結果

大気基準適用施設の設置状況は、下表のとおりである。平成 25 年 3 月 31 日現在 20 施設から届出され、稼働中の施設すべてから報告があり、いずれも排出基準に適合していた。

#### 大気基準適用施設の設置状況

施設名	稼働中施設	休止中施設 (建設中施設を含む)	計
製鋼用電気炉	1	0	1
アルミニウム合金製造用施設	3	2	5
廃棄物焼却炉	13	1	14
計	17	3	20

#### 排出水の測定結果

水質基準対象施設を設置する事業場の設置状況は下表のとおりである。平成 25 年 3 月 31 日現在、4 事業場から届出され、排出基準の適用を受ける 3 事業場から報告があり、いずれも排出基準に適合していた。

#### 水質基準適用事業場の設置状況

特定施設の種類の種類	水質基準対象施設からの 排出水がある事業場	水質基準対象施設からの 排出水がない事業場	計
廃棄物焼却炉の廃ガス洗浄施設等	2	1	3
下水道終末処理施設	1	0	1
計	3	1	4

(注) 特定施設の種類の種類について、異なる施設を複数設置している事業場にあつては、主たる施設を記載した。

#### ばいじん及び燃え殻の測定結果

市内の測定対象となる廃棄物焼却炉は、平成 25 年 3 月 31 日現在 13 施設が稼働中であり、稼働中の施設すべてから報告があり、すべての施設が埋立処分等の基準に適合していた。

#### (4)届出状況

##### 大気基準適用施設

特定施設		平成24年度末現在 設置基数合計	事業所数
廃棄物焼却炉	4 t/h 以上	3	
	2 t/h 以上～4 t/h 未満	4	
	200kg /h 以上～2 t/h 未満	3	
	100kg /h 以上～200kg /h 未満	4	
	100kg /h 未満	0	
	小計	14	10
製鋼用電気炉		1	1
アルミニウム合金製造施設	溶解炉	5	2
特定施設数総計		20	13

##### 水質基準適用施設

特定施設		平成24年度末現在 設置基数合計	事業所数
廃棄物焼却炉 に係る廃ガス 洗浄施設・湿 式集じん施設・ 灰の貯留施設	4 t/h 以上	2	
	2 t/h 以上～4 t/h 未満	2	
	200kg /h 以上～2 t/h 未満	3	
	100kg /h 以上～200kg /h 未満	0	
	100kg /h 未満	0	
	小計	7	3
下水道終末処理施設		1	1
特定施設設置工場等からの排出水の処理施設		0	0
特定施設数総計		8	4

#### 8. 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)に基づく届出の集計結果

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)は、平成11年度に公布され、業種・従業員数等一定の条件を満たす事業者が、定められた化学物質(第一種指定化学物質:462物質)を一定量以上取扱った場合、翌年度にその排出量及び移動量を届出する制度である。

平成24年度は、平成23年4月～平成24年3月までの排出量及び移動量について22業種124事業所から届出があった。

届出排出量は、約1,770tで、大気への排出が1,762t、公共用水域への排出が8tであった。土壌への排出や埋立処分の届出はなかった。

届出移動量は、約1,581tで、大部分が事業所外への移動であった。

排出・移動量の合計は、約3,351tで、上位5物質は、トルエン、キシレン、マンガン及びその化合物、鉛化合物、エチルベンゼンの順で全体の約85%を占めていた。